

予約サポートで予約しました

若松泰誼さん(東三ツ木在住)

早く予約ができて助かりました。ワクチンを2回接種して抗体ができれば、安心して出掛けられます。副反応などより、接種しないことで知らず知らずのうちに人にうつしてしまうかもしれないリスクの方が怖いと思っています。



顔の見えるつながり

近所の自治会館などで、高齢者の予約を代行することができれば、電話回線がパンクするリスクを減らせるのではないかと考えて自治会館など53か所と各公民館11か所での高齢者の予約サポートを行うことを決定し準備を始めましたが、すでに接種券は発送済み。そこで、多くの高齢者へ予約代行サービスがあることを、焦らなくても予約が取れることを伝えるために、自治会と民生委員に周知の協力をお願いしました。予約がスタートする5月10日までの短い期間で、多くの高齢者にワクチン接種予約の情報を分かりやすく伝えることができたのは、日頃から顔を合わせて生活している民生委員や自治会員だからこそ。自治会では予約会場を確保し、当日の感染予防対策を自治会員が交代で行いました。また、文字が大きく、分かりやすいチラシを独自で作成して、回覧や掲示で事前に周知することにも力を入れました。

予約状況を把握

市では、予約サポート事業を危機管理訓練の一環として実施。予約状況をモニタリングし、予約に訪れた人が集中している場所には、随時応援職員を派遣して対応しました。予約開始日には混雑があったものの、多くの方がスムーズに予約を取れています。



民生委員の渡邊正彦さん(写真左)は、ワクチンへの不安を軽減するために、予約に訪れた人への声掛けを欠かしません

高齢者の新型コロナワクチンの接種予約がスタートしました。初日となる5月10日に予約をしたのは、約8千800人。80歳以上の方の半数以上が初日に予約を完了しました。今日までは、田舎にワクチン接種の予約を進めるための地域の動きをご紹介します。

さやまの地域力 マジでもあり!

ワクチン接種予約スタート

市では、4月23日に65歳以上の方へ接種券を発送し、5月10日から80歳以上の方のワクチン接種の予約を開始しました。

予約方法は、スマートフォンやパソコンを使ってインターネットの専用予約サイトから予約をするか、コールセンターに電話をするかの2通り。先行して予約をスタートさせた自治体では「何度やっても電話やインターネット回線が繋がらない」「予約受付件数に制限があって予約ができない」といった問題が報道されてきました。回線数を増やしても、申し込みが殺到してしまつと、電話もインターネットもつながりにくくなってしまいます。また、最初に予約がスタートした80歳以上の方は、インターネットからの予約に不慣れな方が多く、電話予約に集中すること

も予想されたため、それを分散するにはどうすればいいかと考えました。

予約受付状況

日付	合計(a+b)	コールセンター(a)	インターネット(b)	自治会館・地区センターでの受付者
5月10日~16日	23,013回分	2,908回分	20,105回分	5,294名
5月17日~23日	19,342回分	2,696回分	16,646回分	5,071名
5月24日~30日	25,104回分	2,881回分	22,223回分	6,242名
合計	67,459回分	8,485回分	58,974回分	16,607名

※接種は2回行いますが、2回分の予約が完了していない方もいるため回数分で表記



予約サポートの会場となった各自治会館では、入口での手指消毒や検温、使用済みのスリッパの消毒などを自治会員が交代で行っていました

